

RYOBI

2013年3月期 決算資料(詳細)

リョービ株式会社

2013年5月

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目 次

I . 2013年3月期 連結業績概要

II . 2014年3月期 連結業績予想

III . 事業別の状況

3

I . 2013年3月期 連結業績概要

4

■業績の概要

増収・減益

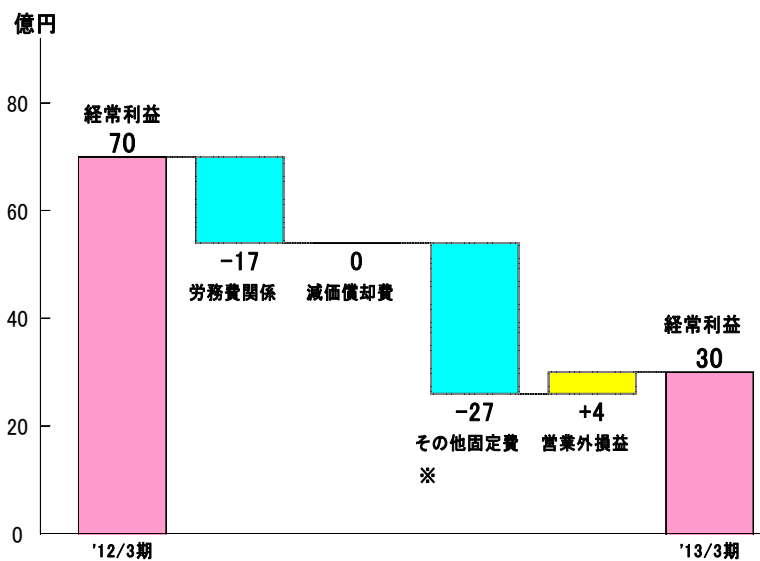
売上は3期連続の増収、利益は2期連続の減益

単位：億円

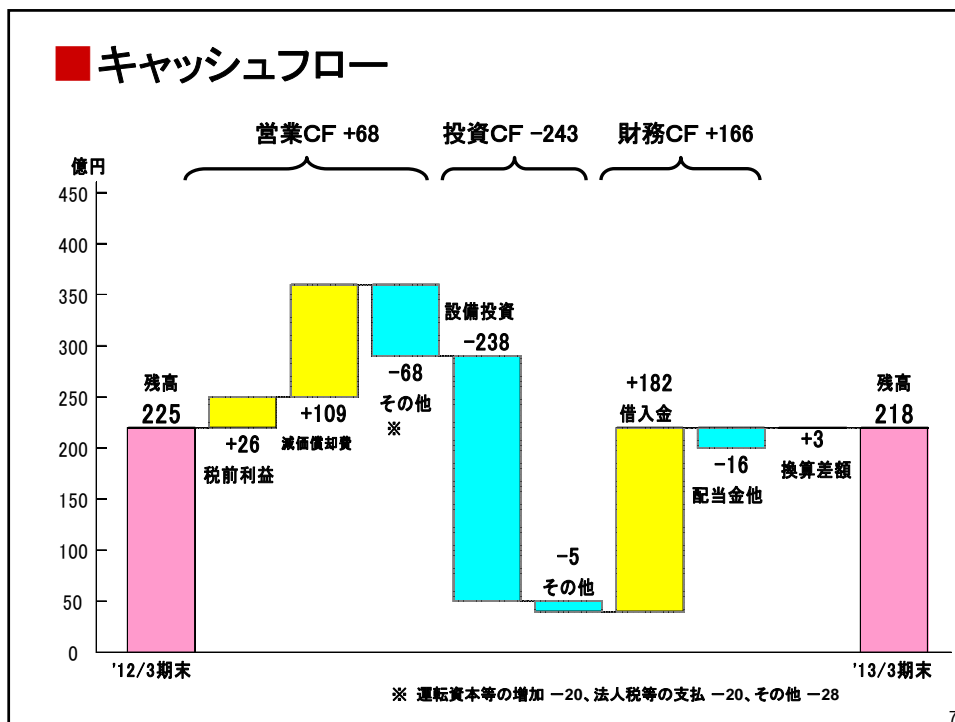
	'11/3期	'12/3期	'13/3期	前年同期比	
	(利益率%) 実績	(利益率%) 実績①	(利益率%) 実績②	②-①	増減率%
売上高	1,617	1,656	1,666	+9	<+0.6>
営業利益	(5.1) 83	(4.7) 77	(2.0) 33	-44	<-57.1>
経常利益	(4.6) 74	(4.2) 70	(1.8) 30	-40	<-57.1>
当期純利益	(2.8) 46	(2.5) 42	(1.2) 20	-22	<-51.9>
	'11/3期末	'12/3期末	'13/3期	前期末比	
	実績	実績①	実績②	②-①	増減率%
総資産	1,706	1,877	2,147	+270	<+14.4>
自己資本	702	733	785	+52	<+7.1>
有利子負債	484	575	791	+216	<+37.6>

5

■経常利益増減要因



6



■ 事業別の業績

単位: 億円

	'11/3期 (構成比率%) 実績	'12/3期 (構成比率%) 実績①	'13/3期 (構成比率%) 実績②	前年同期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(73.1) 1,182	(74.5) 1,234	(76.0) 1,267	+33 <+2.7>
印刷機器	(12.2) 197	(10.6) 175	(9.4) 156	-19 <-11.1>
住建機器	(14.7) 239	(14.9) 247	(14.6) 243	-4 <-1.8>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(6.2) 73	(4.9) 61	(1.8) 22	-38 <-63.1>
印刷機器	(-4.8) -9	(-4.1) -7	(-4.6) -7	-0 <->
住建機器	(8.1) 19	(9.5) 23	(7.3) 18	-6 <-24.3>

■ 事業別営業利益の増減の要因 (前年同期比)

<ダイカスト事業> (-38億円)

中国での生産拡大や米国での受注が堅調であったことから増収となったものの、固定費等の増加や製品単価の下落などにより利益率が低下し、減益。

<印刷機器事業> (-0億円)

国内販売は増加したものの、海外からの受注が低迷したことから輸出が伸びず、売上高は減少したが、原価低減や経費削減の効果により損失はほぼ横ばい。

<住建機器事業> (-6億円)

円高の影響などにより輸出が減少したため、減収。また、販売競争が厳しさを増していることから利益率が低下し、減益。

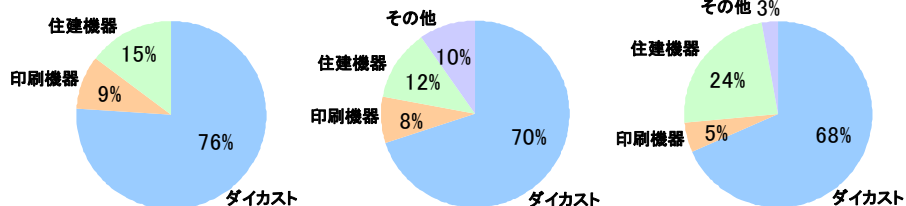
9

■ 事業別構成比 ('13/3期)

売上高(1,666億円)

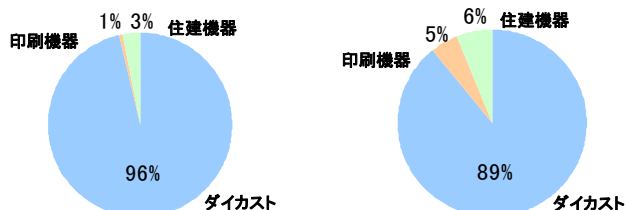
資産(2,147億円)

人員(7,903人)



設備投資(275億円)

減価償却費(109億円)



10

Ⅱ. 2014年3月期 連結業績予想

11

■ 経営環境

- ・ 国内は金融政策、経済対策の効果や輸出環境の改善により、生産や個人消費などに持ち直しの動きが広がり、海外では米国や中国で緩やかな**経済拡大が続く**ことが期待される。
- ・ 一方で、欧州債務危機、原油・原材料価格の高騰、為替や金利の変動など**懸念材料が多い**。
- ・ 自動車産業は、国内は減少するものの、北米・中国は概ね堅調に推移する見通し。
印刷機器市場は、設備投資の意欲減退や資金調達の環境悪化などが続いており、**依然として低調**である。
住建機器市場は、消費増税前の需要が増加する見通しだが、**販売競争は厳しさを増している**。

12

■ 業績予想

増収・増益

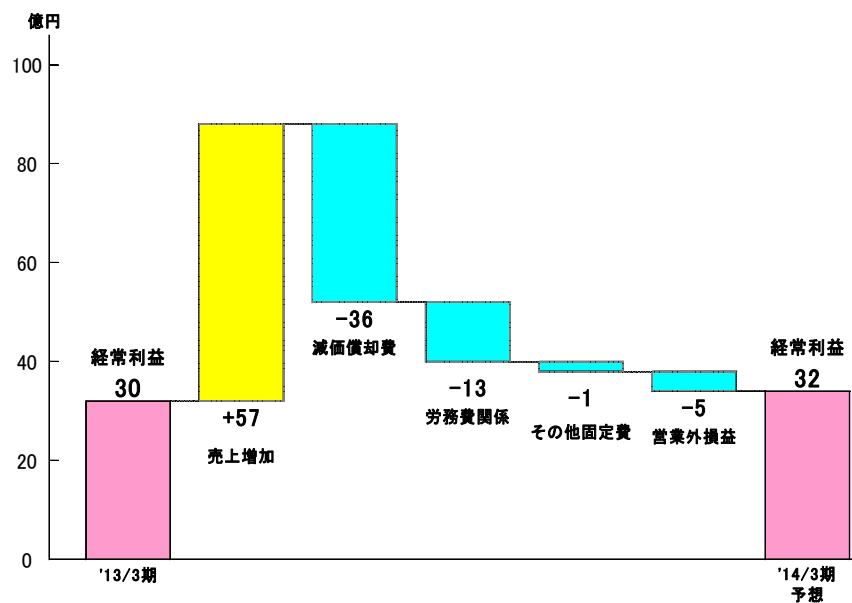
売上は4期連続の増収、利益は3期ぶりの増益

単位：億円

	'12/3期		'13/3期		'14/3期		前期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	予想②	②-①	増減率%	
売上高		1,656		1,666	1,830	+164	<+9.9	
営業利益	(4.7)	77	(2.0)	33	(2.2)	40	+7 <+21.0	
経常利益	(4.2)	70	(1.8)	30	(1.7)	32	+2 <+7.3	
当期純利益	(2.5)	42	(1.2)	20	(1.1)	21	+1 <+4.5	

13

■ 経常利益増減要因 ('13/3期比)



14

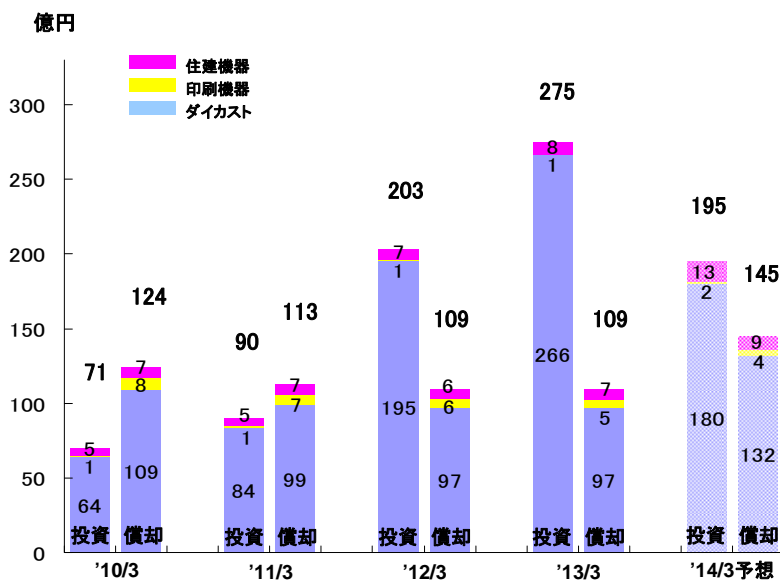
■ 為替レート

	'13/3期	輸出入レート ※換算レート	'14/3期 想定レート
US \$	83円		90円
	79円		(+40百万円)
EUR	107円		120円
	—		(±0百万円)
Stg £	131円		140円
	126円		(+14百万円)
CNY	—		14.5円
	12.6円		(-50百万円)

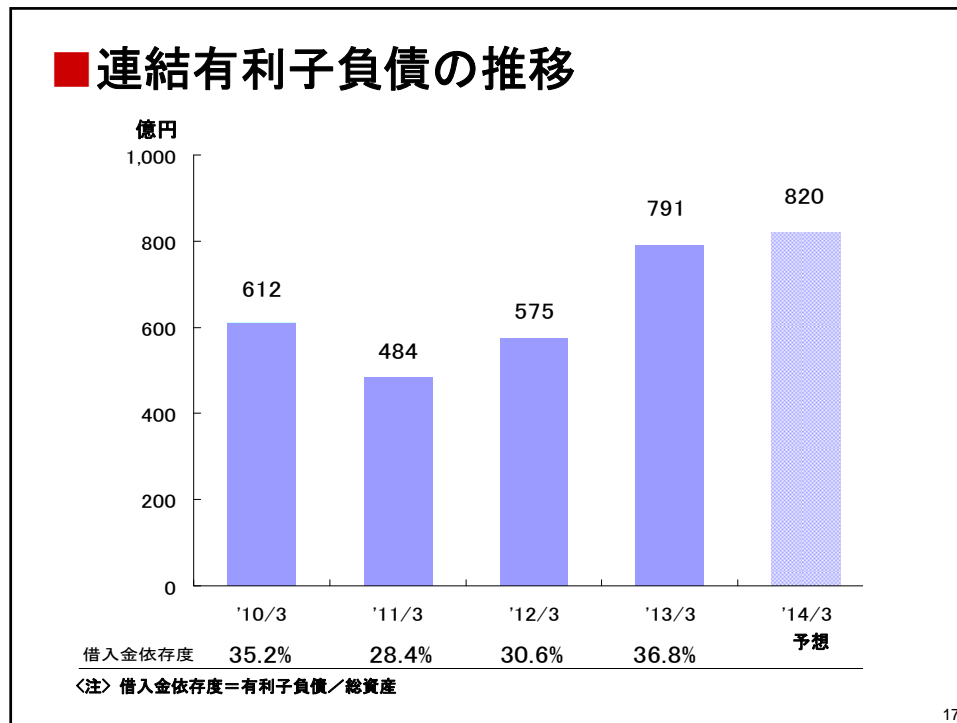
()内は1%円安に変動した場合の年間の営業利益影響額。
※海外子会社財務諸表換算レート

15

■ 設備投資・減価償却費の推移



16



Ⅲ. 事業別の状況

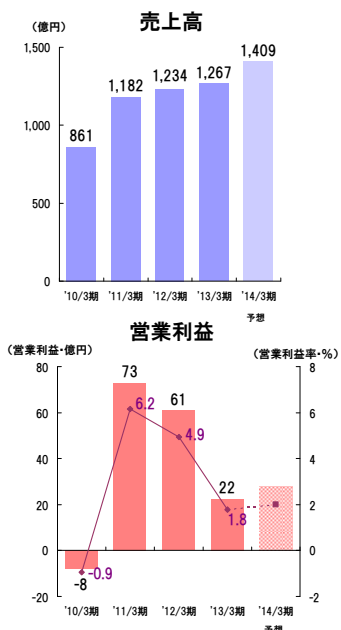
■ 事業別の業績

単位: 億円

	'12/3期 (構成比率%) 実績	'13/3期 (構成比率%) 実績①	'14/3期 (構成比率%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(74.5) 1,234	(76.0) 1,267	(77.0) 1,409	+142 <+11.2>
印刷機器	(10.6) 175	(9.4) 156	(8.9) 163	+7 <+4.6>
住建機器	(14.9) 247	(14.6) 243	(14.1) 258	+15 <+6.1>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(4.9) 61	(1.8) 22	増加	
印刷機器	(-4.1) -7	(-4.6) -7	改善 (黒字化)	
住建機器	(9.5) 23	(7.3) 18	減少	

19

■ ダイカスト事業 業績・方向性



事業展開の方向性

有望市場への資源配分と収益性改善

- 海外事業の先行投資を早期に利益に結び付け、収益性を高める。

重点施策

海外市場での事業活動の充実

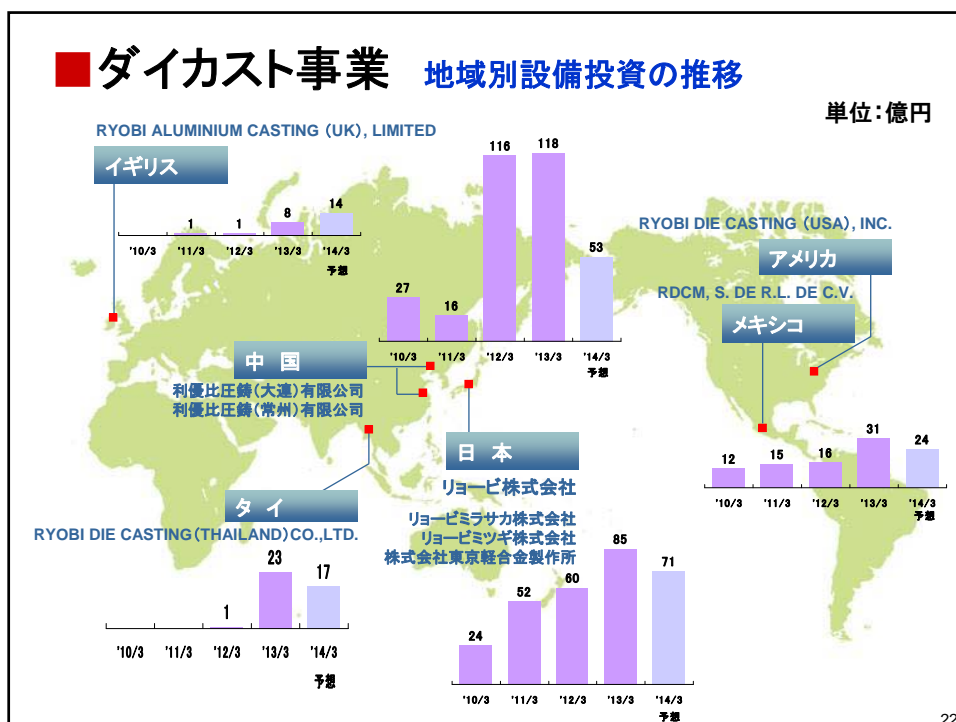
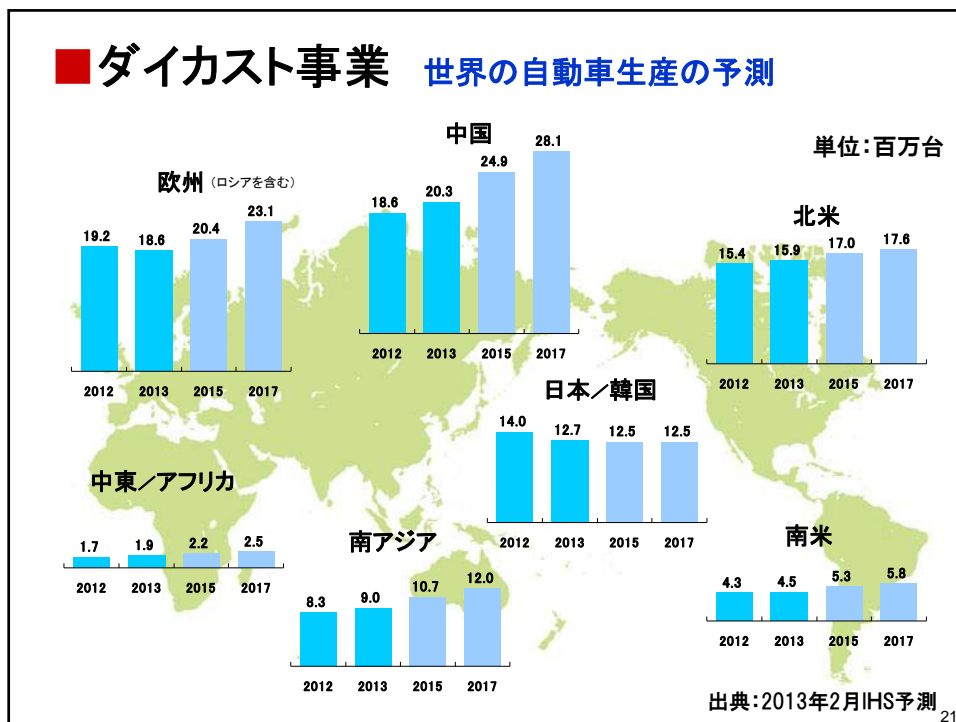
2015/3期以降、生産は軌道に乗り、売上高・利益は拡大する。

国内市場の収益性改善

生産性向上と売上高維持。

技術開発力強化による新規品受注の拡大

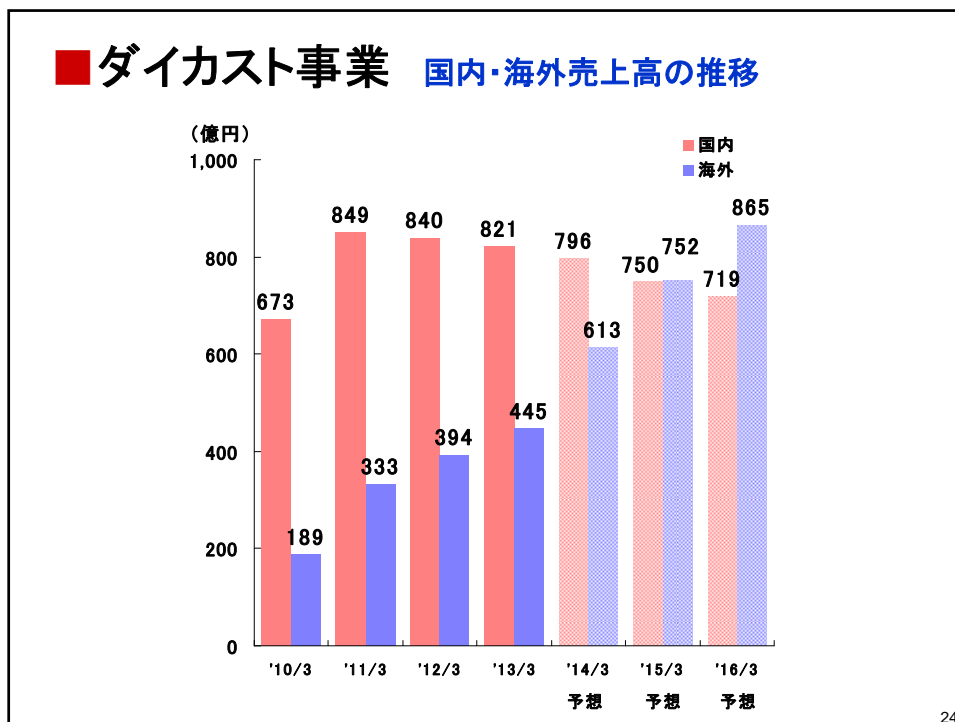
20



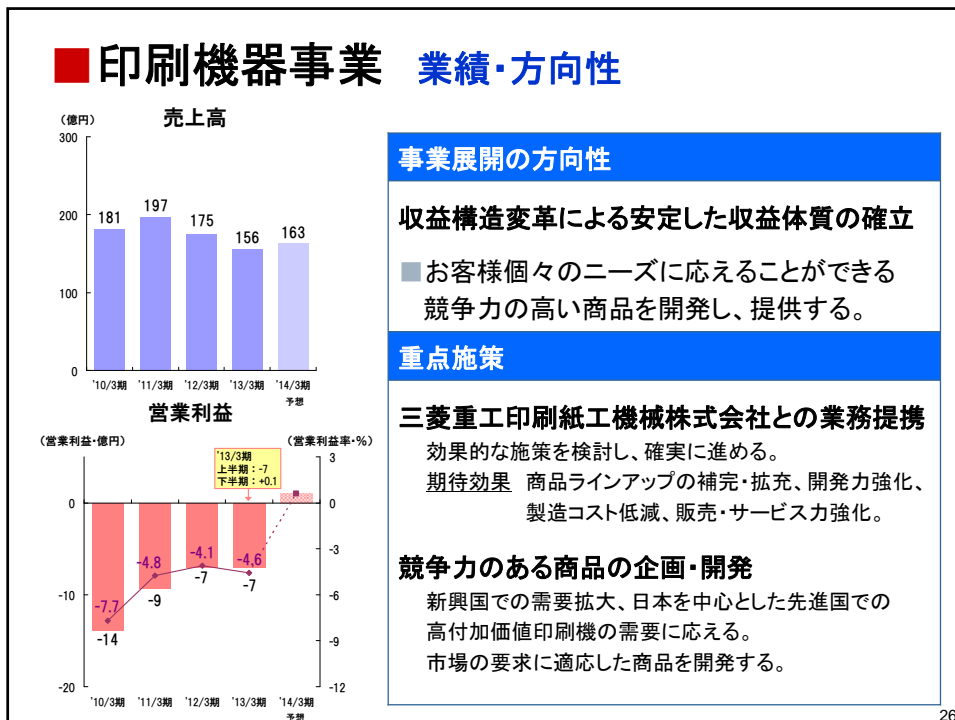
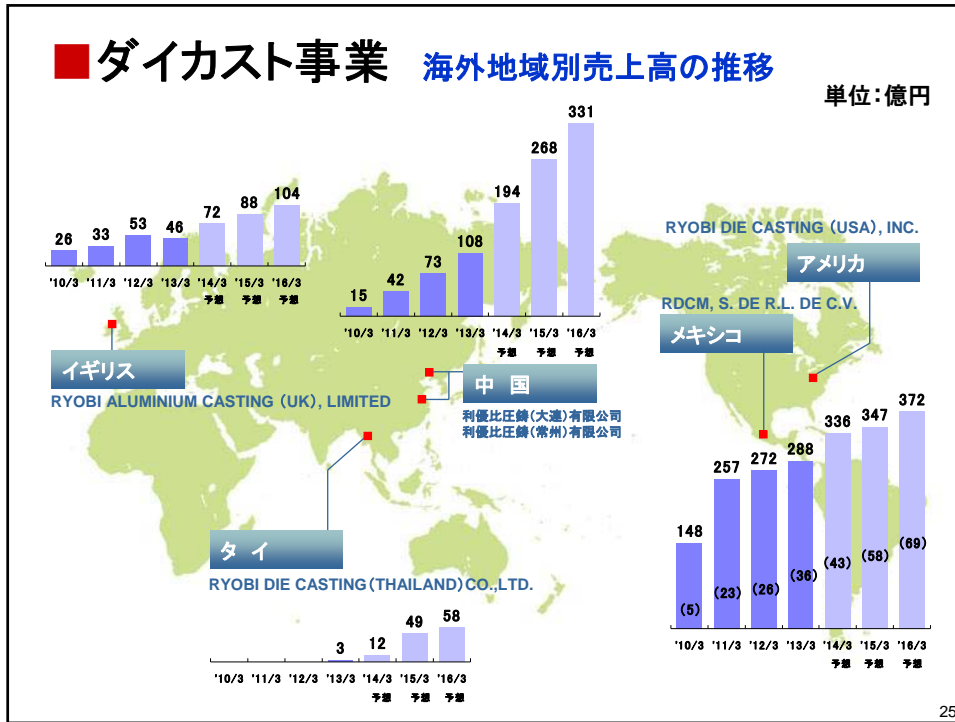
ダイカスト事業 地域別事業展開の方向性

		'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期
日本	▶技術開発拠点				
	▶金型製作の中心拠点	新金型工場完成 (26億円)	4月 量産開始。生産能力が2倍に		
	▶海外サポート拠点				
北米	▶米州での製造拠点 売上高の拡大と収益性の向上。 北米自動車メーカーへの納入金型拡販。	アメリカ		新規品受注を拡大	
		メキシコ	生産設備増強 (29億円)	増強設備の量産開始	
欧州	▶欧州での製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。 収益性の向上。			新規品受注による増産	
中国	▶中国での製造拠点 増産対応の強化。 新規品の確実な立ち上げ。	大連 総投資額 260億円	第2工場完成 10月 量産開始	生産が本格化	
		常州 総投資額 150億円	工場完成 11月 量産開始	生産が本格化	
東南アジア (タイ)	▶東南アジアでの製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。		工場完成	6月 量産開始	生産が本格化
		総投資額 62億円			

23



24



■ 印刷機器事業 商品開発

- ◆ お客様のご要望によりカスタマイズ
LED-UV印刷システムを
搭載したラインアップを
充実



薄紙・厚紙両方に対応するLED-UV印刷システム搭載の
B1サイズオフセット多色印刷機

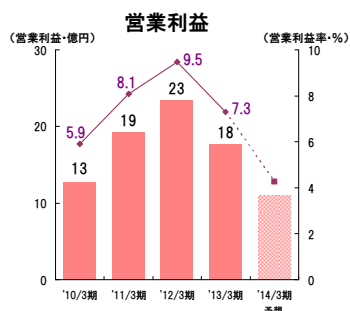
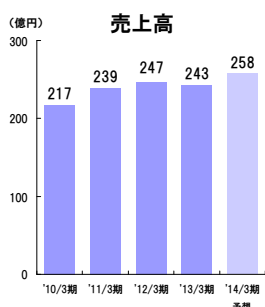
- ◆ お客様の生産性を向上させる
全自動の同時刷版交換装置
Smart - RPC



Smart-RPC搭載の
A1サイズオフセット多色印刷機

27

■ 住建機器事業 業績・方向性



事業展開の方向性

お客様の期待を超える商品の提供

- お客様目線で将来を予測し、満足度の高い
新たな商品(価値)を継続して提供する。

重点施策

お客様にとって価値の高い商品の開発

市場の声を反映した商品の企画、開発を行う。
機能性、意匠性の高い商品を開発する。

成長市場での売上高拡大

主に中国での営業活動を強化する。

工場の生産性改善による価格競争力の強化

生産拠点(中国)の生産性改善と品質保証体制を強化
する。

28

■ 住建機器事業 商品開発

- ◆ プロ用 充電式インパクトドライバ
「**BID-145**」

- ◆ 家庭菜園向け 電気耕うん機
「**ACV-1500**」


- ◆ ドアクローザ
「**GEOPROシリーズ**」

- ◆ 引戸クローザ
木製引戸用
「**sliderman (スライダーマン)**」

ドア枠

引戸を開ける方向

29

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

30